

平成 28 年度第 2 回ルール委員会議事録

開催日時： 2016 年 12 月4日(日) 10:30～17:00

開催場所： 岸記念体育会館

参加者： 増田委員長、大村副委員長、前園副委員長、松原事務局長、川北、日下部、秋元、榛葉、村松、田中、桜井、岡部、山口、高野、佐藤、渡辺、木内、富松、石川、高谷、坂元、加藤、吉本、宮崎、周東、今津、古川、稲葉 計 28 名 ※順不同、敬称略

1. <報告>小委員会活動報告

1.1 ジャッジ小委員会：加藤小委員長

- ・ 普及指導委員会が、義務研修報告を主催委員会が直接書き込む方法に変更予定であることに対応すべく、ルール委員会内の組織作りが必要であることが確認された。
- ・ ジャッジ更新講習にて、ジャッジ証再発行希望者については手数料を徴収するので、洩れなきようリスト化するなど各開催地にてチェックする必要があることが確認された。
- ・ RRS の主な変更点について説明がなされた。更新講習会等において質問を受けた場合、回答例を提案してルール委員会メーリングリストへ展開し議論することとなった。講習会資料に関する質問、改善点などは早急にルール委員会メーリングリストへ意見を発信することとなった。
- ・ 更新講習会資料の事務手続きスライドの中に、電子ブックについてのアナウンスを追加し、決定していないケース・ブックやジャッジ・マニュアルの価格を削除することとなった。
- ・ 電子版発刊後の更新時の、書籍所持の要件確認の方法について、引き続き協議していくこととなった。
- ・ RRS の海賊版の情報があれば、すぐに報告するよう要請があった。

1.2 IJ/IU 育成小委員会：前園小委員長

- ・ 来年は国際レースが国内で行われるので、候補者は積極的に参加するよう呼びかけられた。
- ・ IJ セミナーについて、セミナー講師より参加者の発言が少ないという指摘を受けたので、今後の受講者は積極的にセミナーに参加、質問するよう呼びかけられた。
- ・ 障害者セーリングについて、2020 年のパラリンピックからセーリングが無くなったので、モチベーション維持が課題であることが報告された。
- ・ 柴沼委員よりご提案のあった国際大会のジャッジ推薦基準の設定について、今後小委員会で協議していくこととなった。

1.3 アンパイア小委員会：今津小委員長

- ・ マッチ・レースは大会数が多くないので、工夫をして更新講習や認定講習を計画する必要があることが報告された。
- ・ 広島から認定講習会開催の要請があった旨、報告があった。
- ・ 大学対抗戦にチーム・レースを導入するなどの普及活動について、要望があった。
- ・ 新規のチーム・レースを行う場合、チーフ・アンパイア派遣の費用はルール委員会予算を活用すべく、要望があった。

1.4 規程管理小委員会：富松小委員長

- ・ JADA と訳語の整合性を取っているが、医事・科学委員会との整合性を取るべきとの意見があり、試訳文書を医事・科学委員会に確認頂くこととなった。
- ・ 現 RRS の正誤表等を年明けに HP より削除する必要があることが確認された。
- ・ JSAF 規程は、JSAF 理事会承認されたので、近日中に公示する予定である旨、報告があった。

1.5 外洋小委員会：大村小委員長

資料に基づき報告があった。

JSAF 外洋レース規則 2009 については、今回の RRS 改正に伴う改定の必要はないことが確認された。

1.6 普及小委員会：吉本小委員長

- ・ コーチ、指導者は新 RRS での「支援者」となるので、講習会にも是非参加いただくよう宣伝する必要があることが確認された。
- ・ 指導者・選手向けルール講習、及び、B 級ジャッジ更新講習会を企画いただくよう、各小委員長から関係 ML へ投げかけることとなった。

2. <報告>RRS 改定 WG 活動報告：前園 WG長

- ・ 電子書籍化に向け、活動を進める必要があることが確認された。
- ・ 新 RRS の現行訳課題抽出については継続的に古川が受け付け、4 年後に向け活用することとなった。

3. <審議>NJNU 規程改定：加藤小委員長

- ・ 資料に基づき説明があり、採決の結果、本懸案満場一致で原案通り可決された。

4. <協議>IJIU 推薦候補選定基準改定：前園小委員長

- ・ JSAF 理事会日程との整合性を取るため、申請締め切り日について種々議論があった。
- ・ ご意見等は早めにメールで連絡していただき、来年 3 月の次回委員会にて協議することとなった。
- ・ ルール委員長が認める大会の基準については、IJIU 育成小委員会にて協議することとなった。

5. <協議>JSAF 規程および上告否認に関する課題：増田委員長

- ・ 資料に基づき説明があり、上告否認のあり方について種々議論された。
- ・ 委員からのご意見があればご提案いただきたい旨、要望された。
- ・ 今後、抽出した課題を整理した上で、JSAF 規程、NJNU 規程等の改定の議論を進めていく。

6. <報告>江ノ島オリンピックウィーク大会報告：増田委員長

- ・ 規則 69 に関する処置を、新 RRS の手順に沿って実施されたことが報告された、

7. <報告>WS 総会報告：田中委員

- ・ 福岡で行われたアメリカズカップの報告およびWS 総会について報告がなされた。アメリカズカップでは、艇

の斬新さのみならず、陸上で超高精度 GPS による航跡（4 秒先の航跡予想も含む）を画面で確認しながらのアンパイアリング、判定やペナルティー履行完了などのステータスがすべてレース艇、アンパイア・ボートなどのモニターに表示されるシステムなど、未来のレースの形のような感じの報告があった。

- ・ プロジェクタで投影された資料を各委員にメールで配信いただくこととなった。

8. その他

- ・ JSAF 理事会について：大村副委員長
資料に基づき報告があった。
- ・ 次回ルール委員会について：前園副委員長：
次回ルール委員会は 3 月 4、5 日で行われる予定であることが報告された。

以上